

公益財団法人京都市芸術文化協会
平成28年度 事業実績報告

I 自主事業

当該事業は、会員が企画・運営する当協会の基幹的な事業であり、この事業を通じて、各分野における会員の拡大と芸術文化の普及・振興を図っています。

1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

(1) 機関誌『藝文京』及び広報パンフレットの発行

協会会員をはじめ、芸術文化関係者・関係機関、公共施設等を対象に、機関誌『藝文京』（芸文協創立35周年記念号）を平成29年3月に発行しました。（1,500部、カラー表紙、A5判、64頁）
また、「京の文化絵巻」の総合パンフレットを平成28年9月に発行しました。

(2) 協会ホームページの運営

協会ホームページの運営を通じ、自主事業や会員催事情報等の告知、資料の公開など、芸術文化に関する情報発信を行いました。（会員催事情報掲載件数：65件、ホームページアクセス件数：15,208件）

2 各種芸術文化事業の実施及び奨励

(1) 協会創立35周年記念事業の実施

ア 京の文化絵巻Ⅰ

開催日	事業名称	内容・出演等	会場	人数
9月11日	～花鳥風月～ ※ロームシアター京都 オープニング事業	舞台部門を中心に、多分野の会員による舞台公演で、新たな文化の交流を生み出した。 料金：前売 2,500円 当日 3,000円	ロームシアター京都 サウスホール	663人

イ 京の文化絵巻Ⅱ

（参加者数：2,527人／The Tea（茶会）のみ有料）

開催日	事業名称	内容・出演等	会場	人数
10月22日 11月13日 12月18日	～The Talk～ （トークイベント）	京都の芸術文化の魅力や展望を伝えるトークイベント 10/22：茂山あきら×森口邦彦 11/13：建畠哲×辻喜代治 12/18：村山明×伊勢信子、進行：松尾恵	10/22：大広間 11/13：ミーティングルーム2 12/18：フリースペース	122人
1月10日 ～2月7日	～The Exhibition～ （展覧会） ※藝文京展と同時開催	造形部門の会員による二人展 村山明、伊勢信子 ※ 藝文京展と同時開催	ギャラリー北・南	2,174人
1月21日	～The Tea～ （茶会）	「明倫茶会」との連携企画 席主：茂山あきら 料金：1,000円	大広間	88人
1月22日	～The Symposium～ （シンポジウム）	テーマ：美しい暮らし、文化の底流 ～子どもたちに伝えたい京都 基調講演：近藤誠一 パネラー：片山九郎右衛門、小島富佐江、続木創、近藤誠一 コーディネーター：井上あさひ	講堂	143人

ウ 各種芸術文化事業

(参加者数：4,888人)

開催日	事業名称	内容・出演等	会場	人数
4月17日	京都民謡まつり ※ロームシアター京都 オープニング事業	出演：民謡民舞連合会員ほか 料金：前売2,300円 当日2,500円	ロームシアター京都 メインホール	1,228人
11月20日	深川秀夫版 「白鳥の湖」全幕公演 ※ロームシアター京都 オープニング事業	演出・振付：深川秀夫 指揮：園田隆一郎 演奏：京都市交響楽団 出演：洋舞分野会員を含むオーディ ションで選ばれた京都ゆかり のダンサーほか 料金：SS席6,000円ほか	ロームシアター京都 メインホール	1,680人
1月29日	京都ビッグ・バンド・ フェスティバル	出演：京都府吹奏楽連盟ほか 料金：1,000円	京都コンサートホール 大ホール	1,980人

(2) 各種芸術文化事業の奨励(後援・共催)

会員が実施する事業に対して、71件の後援を行いました。

3 芸術文化に関する教育及び普及

子ども芸術体験教室を、夏休み・冬休みの時期に実施しました。(参加者数：132人)

開催日	事業名称	講師等	会場	人数
7月23, 24, 30, 31日	夏休み 邦舞体験教室	篠塚瑞穂、篠塚梅晃、篠塚梅峯、篠塚瑞桜	フリースペース	28人
7月25, 29日, 8月1, 4, 5日	夏休み 邦楽体験教室	箏：大木富志、丸毛順子、西澤美樹 尺八：深井游山、雲井花山	大広間ほか	11人
7月26, 27, 28日 , 8月2, 3日	夏休み 能楽体験教室	公益社団法人能楽協会京都支部	大広間ほか	72人
1月5日, 7日	冬休み 芸術体験教室	写真を撮って、俳句をつくる教室 (写真) 小林達也、木村允宏 (俳句) 岡村美江	講堂	21人

< 成果発表 >

(参加者数：427人)

開催日	事業名	会場	人数
8月4日	夏休み能楽体験教室 発表会	大江能楽堂	280人
8月7日	夏休み邦楽・邦舞体験教室 合同発表会	講堂	147人
1月10日 ～15日	冬休み芸術体験教室 作品展	インフォメーション前	—

4 芸術家等の育成及び顕彰

(1) 芸術家等の育成

次代を担う芸術家育成等のため、展覧会を企画し実施しました。(参加者数：2,861人)

開催日	事業名称	内容・出演等	会場	人数
6月3日 ～5日	京都いけばなプレ ゼンテーション2016 〈伝統と現代 花会〉	華道分野会員によるいけばな展示 と体験教室、アーティストトーク	講堂、大広間ほか	1,525人
1月15日 ～2月11日	藝文京展2017	テーマを「書からカリグラフィー、 タイポグラフィまで」と 設定し、文字を扱う芸術全般の 作品を全国から募集。審査委員 会で選抜した25点を展示 ※京の文化 絵巻Ⅱ～ The Exhibition～と同時開催	フリースペース	1,336人

(2) 芸術家等の顕彰

ア 京都市芸術文化協会賞

原則として当協会に所属する会員を対象に、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を表彰する制度です。

平成28年度は、音羽菊寿寿（邦舞）、中野恭心（華道）の2名を表彰しました。

イ 京都市芸術文化協会新人賞

原則として当協会に所属する会員を対象に、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動においてさらにその活躍が期待される方を表彰する制度です。

平成28年度は、岡部佐恵子（洋楽）を表彰しました。

5 総会・芸文協創立35周年祝賀会

平成28年7月7日（木）に会員総会・芸文協創立35周年祝賀会を開催しました。

（会場：京都ホテルオークラ）（出席者162名）

II 受託事業

京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「京都文化芸術都市創生計画」や「京都文化芸術プログラム2020+」に基づく事業を受託し、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して事業を実施することで、京都市の文化芸術行政の一翼を担っています。

1 市民狂言会

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため、年4回、京都観世会館と金剛能楽堂を会場に開催しました。(入場者数：1,364人)

開催回 開催日	演目・出演等	会場	人数
第242回 5月27日	演目：末広かり、鞆、八句連歌、犬山伏/出演：茂山千五郎、茂山あきら、茂山千三郎他	京都観世会館	315人
第243回 8月19日	演目：柑子、腰折、口真似、金津/出演：茂山千五郎、茂山七五三、茂山あきら他	金剛能楽堂	353人
第244回 12月2日	演目：鎌腹、合柿、祐善、伯母ヶ酒/出演：茂山七五三、茂山あきら、茂山千三郎、茂山千五郎他	京都観世会館	387人
第245回 3月3日	演目：子の日、子盗人、地藏舞、空腕/出演：茂山七五三、茂山千五郎、茂山茂、他	京都観世会館	309人

※入場料：前売2,500円/当日3,000円/キャンパス・スポーツ・ナース 当日1,500円 年間席札8,000円

2 京都文化芸術プログラム2020関連事業

(1) ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業

京都市内の小学校等を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行いました。

平成28年度は、伝統芸能、伝統文化の分野を中心に40箇所を実施しました。

実施実績 (40箇所、70回、合計2,361人)

実施日	分野	講師	実施校等 (行政区)	対象 (人数)
7月8日	能楽 (囃子方)	左鴻康弘、林大和、井林久登、前川光範 (能楽協会京都支部)	美豆小 (伏見区)	小学6年生 (49人)
7月11日	能楽 (囃子方)	森田保美、林大輝、井林久登、井上敬介 (能楽協会京都支部)	南大内小 (南区)	小学5-6年生 (57人)
7月14日	能楽 (シテ方)	豊嶋晃嗣、宇高德成、山田伊純、 (能楽協会京都支部)	新町小 (上京区)	小学6年生 (85人)
8月31日	邦楽 (箏)	大木富志、丸毛純子、三好晃子 (京都當道会)	二の丸北小 (伏見区)	小学3-4年生 (22人)
9月2日	邦楽 (長唄三味線)	杵屋浩基、杵屋寿哉 (杵勝会)	桃山小 (伏見区)	小学5年生 (81人)
9月2日	華道	花崎陽文 他 (京都いけばな協会)(草月流)	山階小 (山科区)	小学6年生 (44人)
9月7日	陶芸	谷口良孝 他 (清水焼団地協同組合)	石田小 (伏見区)	小学5-6年生 (47人)
9月14日	落語	桂花團治 (上方落語協会)	藤ノ森小 (伏見区)	小学6年 (100人)
9月23日	洋舞 (ワルツ)	隅地 茉歩、阿比留 修一 (セレノグラフィカ)	大原小 (左京区)	小学1~4年生 (25人)
9月27日	能楽 (囃子方)	森田保美、曾和鼓堂、石井保彦、井上敬介 (能楽協会京都支部)	醍醐西小 (伏見区)	小学6年生 (35人)
10月3日	香	山田洋平 他 (山田松香木店)	朱雀第三小 (中京区)	小学6年 (50人)
10月6日	能楽 (シテ方)	田茂井廣道、味方 團・宮本 茂樹 (能楽協会京都支部)	唐橋小 (南区)	小学6年 (79人)
10月7日	狂言	茂山千五郎、島田洋海、鈴木実 (茂山狂言会)	南太秦小 (右京区)	小学6年生 (71人)

10月7日	洋舞 (カクシクハレ)	原美香 他 (原美香ハレスタジオ)	鶴山保育所 (上京区)	5歳児 (25人)
10月17日	能楽 (囃子方)	森田保美、林大輝、井林久登、井上敬介 (能楽協会京都支部)	楽只小 (北区)	小学4~6年生 (25人)
10月19日	華道	北尾登志甫 他 (京都いけばな協会) (未生流)	高雄小 (右京区)	小学5-6年 (44人)
10月20日	落語	桂二乗・弥っこ (上方落語協会)	大宮小 (北区)	小学6年 (127人)
10月25日	茶道 (抹茶)	米澤宗昭 他 (茶道裏千家)	竹の里小 (西京区)	小学5-6年 (44人)
11月1日	能楽 (シテ方)	河村晴久、深野貴彦、宮本茂樹 (能楽協会京都支部)	嵐山東小 (西京区)	小学5年 (55人)
11月4日	狂言	茂山良暢、山口耕道、岡村宏懇、山本善之 (能楽協会京都支部) (忠三郎狂言会)	嵐山小 (右京区)	小学6年 (58人)
11月7日	邦楽 (長唄三味線)	杵屋浩基、杵屋壽哉 (杵勝会)	修学院第二小 (左京区)	小学6年生 (56人)
11月10日	落語	桂二乗、桂鯛蔵 (上方落語協会)	梅津小 (右京区)	小学6年 (87人)
11月15日	茶道 (抹茶)	米澤宗昭 他 (茶道裏千家)	宕陰小 (右京区)	小学1, 2, 4年 (6人)
11月21日	邦舞	篠塚瑞穂、篠塚瑞桜、篠塚梅晃 (京都篠塚流)	花園小 (右京区)	小学6年生 (35人)
11月24日	邦楽 (箏)	大木富志、丸毛順子、三好晃子 (京都當道会)	川岡小 (西京区)	小学6年 (82人)
11月29日	狂言	茂山茂、島田洋海、井口竜也 (茂山狂言会)	安朱小 (山科区)	小学5-6年 (72人)
11月30日	狂言	茂山茂、増田浩紀、井口竜也 (茂山狂言会)	川岡東小 (西京区)	小学6年 (72人)
12月2日	邦楽 (長唄三味線)	杵屋浩基、杵屋寿哉 (杵勝会)	仁和小 (上京区)	小学6年生 (69人)
12月5日	洋舞 (モダンダンス)	石原完二 他 (石原完二モダンバレスタジオ)	中京もえぎ幼 (中京区)	5歳児 (50人)
12月6日	書	白井進、三浦彰峰 他 (京都市芸術文化協会書道分野)	第三錦林小 (左京区)	小学6年生 (45人)
12月7日	現代美術	人長果月 他 (映像作家)	桂小 (西京区)	小学6年 (65人)
12月13日	マンガ	松井仁美 他 (京都国際マンガミュージアム)	高野中 (左京区)	中学2年年 (78人)
12月14日	能楽 (シテ方)	片山伸吾、吉田篤史、橋本忠樹 (能楽協会京都支部)	大原野小 (西京区)	小学6年 (45人)
12月16日	邦楽(箏)	大木富志、丸毛純子、三好晃子 (京都當道会)	鳳徳小 (北区)	小学5年 (55人)
1月17日	邦舞	坂東温子、坂東龍延、坂東温友嘉 (坂東流温美会)	納所小 (伏見区)	小学6年 (55人)
1月17日	演劇 (テアトラスタッフ)	北方こだち 他 (京都舞台芸術協会)	羽束師小 (伏見区)	小学6年 (130人)
1月20日	邦楽 (箏)	大木富志、丸毛順子、三好晃子 (京都當道会)	梅津北小 (右京区)	小学6年 (61人)
1月24日	演劇 (身体表現)	中谷和代 他 (京都舞台芸術協会)	養正小 (左京区)	小学5-6年 (43人)
2月10日	邦舞	音羽菊寿寿、音羽菊千 (音羽流滋賀邦舞研究会)	上賀茂小 (北区)	育成学級 2, 4, 5年 (5人)
2月13日	茶道 (煎茶)	野口久楽 他 (小川流煎茶三清会)	百々小 (山科区)	小学4年 (127人)

*ゴシックは芸術文化協会会員

(2) ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ事業

京都市内の中学生を対象に、和の文化を体感できる場所（能楽堂や歌舞練場等）において、伝統芸能を鑑賞する事業を実施しました。

開催日	分野 演目及び出演	会場	対象 (人数)
1月31日	能「船弁慶」 狂言「附子」 能楽協会京都支部 常磐津舞踊「屋敷娘」 邦舞 邦楽 午前の部：音羽菊寿寿社中 午後の部：坂東温子社中 常磐津都毘蔵連中	京都観世会館	849人

*ゴシックは芸術文化協会会員

<参加校及び人数内訳>

(合計 849人)

参加校	行政区	学年	人数
加茂川	北	2年, 育成	150人
春日丘	伏見	1年, 2年, 育成	266人
下鴨	左京	育成	2人

午前の部 418人

参加校	行政区	学年	人数
北野	中京	1年	87人
太秦	右京	2年	197人
西陵	西京	2年	50人
高雄	右京	1年, 2年	23人
東山泉	東山	2年	74人

午後の部 431人

(3) アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業

京都市からの受託事業として、京都市内及び国内外のアーティスト・イン・レジデンスとのネットワーク構築のための事業を実施します。シンポジウムなどを開催しました。

アーティスト・イン・レジデンスシンポジウム2017

開催日	内容	登壇者等	会場	人数
2月4日	第1部 ディスカッション 「移動することと創作活動」 第2部 ディスカッション 「ネットワークの活用」	(第1部) 登壇者：James Muriuki、 三原総一郎、劉璐姍/モデレーター： 日沼禎子 (第2部) 登壇者：孫莉、日沼禎子、 横堀ふみ、山本麻友美/モデレーター： 佐々木雅幸	講堂	76人

KYOTO AIR ALLIANCE FESTIVAL

期間	内容	参加機関
2月～3月	アーティスト・イン・レジデンスに関するブックレットの発行、イベント情報の集約・発信	14機関・団体 京都芸術センター、Japan Contemporary Dance Network、Sandwich、滋賀県立陶芸の森、ヴィラ九条山、ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川、ANEWAL Gallery、DANCE BOX、神山アーティスト・イン・レジデンス、城崎国際アートセンター、Art Space 寄す処、山懐庵、東山アーティスト・プレイスメント・サービス、京都：Re-Search

3 東アジア文化都市 2017 京都

(1) オープニング事業等

日本、中国、韓国の3か国において、文化芸術による発展を目指す都市が様々な芸術による交流を通じて相互理解と連帯の形成を進める事業であり、京都市は平成29年開催都市として、京都芸術センター等を会場に幅広く文化芸術を発信します。

平成28年度は主に準備と調査、2月、3月にオープニングを記念した事業を行いました。

開催日	事業名称	内容	出演者等	会場	人数
2月18日	noh play ～TAMURA～	京都を拠点に活躍する若手能楽師と現代美術家による能舞台公演	出演：浦田保親、林宗一郎、片山伸吾、大江信行、田茂井廣道、河村和貴、曾和鼓堂、河村大、谷口正壽、前川光範 美術：ヤマガミュキヒロ等	ロームシアター京都 メインホール	2,000人 ※開催式典入場者合計
3月19日	The 饗宴	オープニング「書道実演」 第1部 音×舞 「古木參天さんざめき」 第2部 狂言×中国変面 「からくり人形」	(オープニング) 白井進、吉井公林 (第1部) 作曲：朴守賢/出演：杵屋浩基、李在洙、清水久恵、和田悠花、崔理英、金克典 (第2部) 作・演出：村上慎太郎/出演：茂山千五郎、茂山茂、姜鵬、中村壽慶、井口竜也	講堂	287人

(2) 東アジア文化都市2017京都における東アジアネットワーク事業

東アジア文化都市 2017 京都に合わせ、中国、韓国との3か国で学生等を対象とした滞在型の共同プロジェクトを実施するための調査及びプログラム立案を行いました。

4 連続講座「プロフェッショナルに聞く！～文化庁移転と文化芸術の未来～」

文化庁の京都移転の機運を醸成していくため、連続講座を開催しました。(参加者数：331人)

開催日	内容	講師等	会場	人数
9月1日	オーケストラの未来と文化行政のあり方	広上淳一、平井俊邦	講堂	121人
10月31日	プレイヤーがない！？材料がない！？伝統音楽の未来	北原郁也、時田アリソン	誓願寺	39人
12月13日	アート？遊び？ゲームクリエイターが生み出す新しい価値	飯田和敏、ディラン・カスバート	講堂	86人
3月17日	観る？体験する？文化財と観光	デービッド・アトキンソン、濱叡奈子	大広間	85人

※ファシリテーター：平竹耕三

5 助成関係事業

(1) 京都市助成金等内定者資金融資制度 融資窓口業務

芸術家の資金面の負担を軽減することにより、芸術活動の支援と芸術家の育成を図るため、文化庁等から助成の内定を受けた個人又は団体に対して無利子で資金融資を行う京都市の制度です。当協会は、融資に係る事務を受託しました。

平成28年度は、延べ15団体・個人1名に対して合計28,508千円を融資しました。

(2) 京都市芸術文化特別奨励制度 募集受付業務

芸術文化の若い担い手等を支援・育成することにより、新たな芸術文化の創造を促すことを目的とする事業で、京都で活動する若手芸術家等を対象に候補者を公募し、専門家による審査を行ったうえで、1個人又は1グループにつき300万円の奨励金を京都市が交付します。当協会では、募集等に関する事務を受託しました。

募集期間	応募件数	奨励者
5月1日～7月31日	99件	木ノ下裕一（舞台演出）、高尾長良（文学〔小説〕）

(3) 文化芸術顕彰制度 表彰業務

長年に亘り京都の学術・芸術等の文化の向上に功績があったと認められる人を文化功労者に、将来を期待される新人芸術家等を芸術新人賞に、新人の育成又は芸術に係る活動環境の向上に多大な功労があると認められる団体・個人を芸術振興賞に、それぞれ京都市が顕彰する事業です。

当協会では、表彰に関する事務を受託しました。

顕彰種別	受賞者
文化功労者	秋山陽（陶芸）、上村昇（洋楽）、川村悦子（洋画）、近藤正臣（演劇）、澤田ふじ子（文学〔小説〕）、高橋英一（料理）、森田りえ子（日本画）
芸術新人賞	黒宮菜菜（洋画）、豊嶋晃嗣（能楽）、久門剛史（彫刻）、松平莉奈（日本画）、柳沼昭徳（演劇）
芸術振興賞	大野俊明（日本画）、林剛（現代美術）、公益財団法人ロームミュージックファンデーション（芸術振興）

6 その他

(1) 京都市新規採用職員研修

京都市の新規採用職員の研修として、茶道の講義と体験を実施しました。

開催日	内容	講師	会場	人数
4月11日～12日	茶道デモンストレーション・体験	中西宗修、泉本宗玄	講堂・大広間	254人

(2) 大学・高校等への教育普及

芸術センターの活動紹介を行うため、大学・高校等への教育普及に係る取組を実施しています。

平成28年度は、京都市立銅駝美術工芸高等学校からの受託事業として芸術鑑賞会を実施しました。

開催日	出演	内容	会場	人数
4月28日	狂言：茂山正邦、井口竜也、山下守之 落語：桂よね吉、桂鯛蔵、桂二葉、豊田公美子	「古典落語と狂言一笑い」 解説、ワークショップと実演 落語：「皿屋敷」 狂言：「蝸牛」	京都市立銅駝美術工芸高等学校	270人

(3) 五感で感じる和の文化事業「創生劇場」関連事業

公益財団法人札幌市芸術文化財団からの受託事業として、創生劇場「Traditional Trial～能、狂言プラス～」公演を実施しました。（入場者数等：684人）

開催日	内容	出演	会場	人数
6月22日	能+現代美術『noh play』 狂言+落語『神棚』 *23日14:00～仕舞体験ワークショップも開催	浦田保浩、浦田保親、林宗一郎、片山伸吾、田茂井廣道、ヤマガミユキヒロほか 茂山正邦、茂山茂、茂山童司、桂よね吉ほか	札幌市教育文化会館大ホール	662人 ※23日： 仕舞体験ワークショップ：22人

(4) 札幌ダンス ワーク・イン・プロGRESS「The home dance」

札幌市教育文化会館主催のダンス事業の企画協力を行います。平成28年度は、29年度の砂連尾理の振付による新作公演にむけて、出演者の選出とクリエーションを行いました。(参加者数:200人)

開催月	内容	会場	人数
9月	オーディションワークショップ、ダンスレクチャー	札幌市教育文化会館	18人
2月	クリエーション、ショーケース		182人

(5) 京都市自治記念式典オープニングセレモニー

京都市自治記念式典のオープニングセレモニーに、いけばなと邦楽の共演を実施しました。

開催日	内容等	会場
10月15日	いけばなと邦楽の共演 いけばな実演：京都いけばな協会会長・桑原専慶流家元 桑原仙溪 邦楽奏者：三味線（大木富志、西澤美樹、一口晴美、丸毛順子、細川万理子） 箏（早瀬久恵、池田慶佳、三好晃子） 尺八（岡田道明） 演奏曲：松竹梅	ロームシアター京都 メインホール

(6) スポーツ・文化・ワールド・フォーラム 京都文化体験

スポーツ・文化・ワールド・フォーラムに参加する外国人等を対象として、特別感のある京都文化体験プログラムを実施しました。

開催日	内容等	会場	人数
10月18日	内容：伝統芸能鑑賞、煎茶体験、若手作家の作品も用いた抹茶体験、三味線体験、尺八体験、京釜&抹茶体験、日本舞踊体験/講師：小島富佐江、大西清右衛門、杵屋勝七郎、春乃櫻香、岡田道明、勝冶真美	大広間、講堂、和室「明倫」、小島家住宅、大西清右衛門美術館、千麗徳屋町稽古所	8名

Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術に関係する者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成12年4月から、京都市からの業務委託を受けてセンターの運営を行っており、平成18年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として引き続き管理運営を行っています。

【活動センター機能】

1 伝統的芸術の継承・創造事業

(1) 明倫茶会

芸術、文化、産業等の様々な分野で活動している方を席主として、趣向を凝らした茶会を4回開催しました。(料金：1,000円) (参加者数：305人)

開催日	席主	内容	会場	人数
5月22日	長艸敏明・純恵（刺繍作家、京繡伝統工芸士）	抹茶とお菓子	大広間	80人
8月21日	久門剛史（美術家）、岩崎貴宏（美術家）	甘酒（ノンアルコール）とお菓子 ※夏休み企画展×明倫茶会として開催	和室「明倫」	71人
12月11日	岡田道明（琴古流尺八奏者）	抹茶とお菓子	大広間	66人
1月21日	茂山あきら（大蔵流狂言師）	番茶とすぐき ※芸文協創立35周年記念事業として開催	大広間	88人

(2) 五感で感じる和の文化事業「創生劇場」

国内の貴重な伝統芸能・文化を発信し、将来に継承する拠点施設となる「国立京都伝統芸能文化センター（仮称）」の誘致を目指すモデル事業として、京都の歴史を彩り都市の資源ともなっている伝統文化や伝統芸能を、市民や観光客が気軽に鑑賞し、それらに身近に触れる機会を提供する平成24年度から実施している事業。

ア 創生劇場公演

既存の分野や流派を越えた若手伝統芸能家を中心に、歴史に培われた伝統の中に新しい魅力を生み出す、独創的かつ意欲的な舞台を創造・展開しました。

開催日	内容	出演等	会場	人数
11月26日	創生劇場 「やわらかなかぐら」 ※ロームシアター京都 オープニング事業	演出：杉原邦生/脚本：いしいしんじ /振付：我妻恵美子/脚色：小林昌廣/ 出演者：茂山良暢、山口耕道、森田 真和、田中真之、 大駱駝艦（高桑晶子、銚久奈緒美、 藤本梓、梁鐘響、伊藤おらん、齋門 由奈）、岩下徹ほか/ 箏曲：横山 佳代子ほか/能管：左鴻 泰弘	ロームシアター 一京都 サウスホール	411人

※料金：一般2,500円/25歳以下2,000円/高校生以下500円（各当日券は500円増）

イ 伝統芸能ことはじめ

伝統芸能を楽しむため、テーマを決めて分かりやすく解説する講座を6回実施しました。

(参加者数:648人)

開催日	演目	備考	人数
6月11日	曾根崎心中	講師：小林昌廣（情報科学芸術大学院大学教授） 会場：大広間 料金：無料	111人
7月10日	義経千本桜		94人
9月11日	木ノ下歌舞伎 ゲスト：木ノ下裕一		115人
12月10日	舞踊ア・ラ・カルト		105人
1月7日	一谷嫩軍記～熊谷陣屋		107人
3月5日	妹背山女庭訓		116人

ウ 月イチ☆古典芸能シリーズ

月に一度、古典芸能や文化に触れ、体験する企画。12回開催しました。(参加者数:872人)

開催日	内容	講師	会場	人数
4月26日	大向うを知る	岩城重義	大広間	84人
5月31日	能の三流派を知る ※1	片山伸吾、山井綱雄、豊島晃嗣	大広間	122人
6月26日	茶歌舞伎を知る ※2	谷口郁男	大広間	50人
7月31日	We Love” Kotengeinou” ～海外から見た和の文化を知る～	マシュー・ショアーズ	大広間	68人
8月26日	地獄絵を知る	西山克、瀬戸信行、田島隆	大広間	92人
9月18日	古の色を知る	吉岡更紗	大広間	108人
10月23日	嗟峨大念佛狂言を知る	加納敬二	清涼寺	30人
11月15日	雅楽を知る	藤村正則	大広間	98人
12月21日	踊り念仏を知る※2	相原進	六波羅蜜寺	20人
1月30日	書の心を知る	真神仁宏	大広間	88人
2月10日	式包丁を知る※2	小西将清	大広間	92人
3月10日	発酵を知る	佐藤健司	招徳酒造	20人

※1 参加費1,000円、※2 参加費500円

エ 先覚に聴く

ひとつの道を究めるために研鑽を積んでこられた先覚者をゲストに招いてお話を伺いました。

実施日	内容	会場	人数
3月25日	ゲスト：本阿彌光州（刀剣研師）、南登美子（有職美容師） 進行：小林昌廣	フリースペース	29人

※参加費：1,000円

オ 札幌市からの受託公演（再掲）

札幌市芸術文化財団からの受託事業として、創生劇場「Traditional Trial～能、狂言プラス～」公演を実施しました。(入場者数等:684人)

開催日	内容	出演	会場	人数
6月22日	能+現代美術『noh play』 狂言+落語『神棚』 *23日14:00～仕舞体験 ワークショップも開催	浦田保浩、浦田保親、林宗一郎、 片山伸吾、田茂井廣道、ヤマガミ ユキヒロほか 茂山正邦、茂山茂、茂山童司、桂 よね吉ほか	札幌市教育文化 会館大ホール	662人 ※23日: 仕舞体験ワークシ ョップ:22人

2 芸術家・芸術関係者育成事業

(1) わざゼミ

伝統工芸の知識や手法を習得するためのレクチャー、実習等を組み合わせた初心者向けのワークショップ。平成28年度は、京鹿の子絞りのワークショップを行いました（共催事業）。

開催日	事業名称	内容	講師	会場	人数
8月20日 ～9月25日	京鹿の子絞ワークショップ2016	京都を代表する伝統工芸「京鹿の子絞」の長年培われてきた技術を伝統工芸士から直接学ぶ連続ワークショップ	京鹿の子絞振興協同組合	ミーティングルーム2、ワークショップルーム	10人

(2) トラディショナル・シアター・トレーニング (T.T.T.)

国内外の芸術家・研究者等を対象に、日本の伝統芸能である能、狂言及び日本舞踊に関する基礎知識・技術等を習得してもらうためのプログラムを実施しました。

開催日	内容	講師	会場	人数
7月19日	オリエンテーション、ワークショップ	能：片山伸吾、田茂井廣道、大江信行 狂言：茂山あきら、丸石やすし、 茂山童司 日本舞踊：若柳弥生	フリースペース 大広間 ほか	23人 (受講者)
7月20日 ～8月12日	トレーニング			
8月13日	成果発表	受講者の発表会	大江能楽堂	183人

※プログラム・ディレクター マシュー・ショアーズ

※受講料 一般70,000円、学生50,000円（他、各種割引有）

(3) アートマネジメント研修プログラム2016 ～古典芸能編～

多領域にわたる文化・芸術の意義や必要性を理解し、多様な切り口で企画・運営するための人材を育成することを目的としたプログラムを実施しました。

開催日	内容	会場	人数
11月30日 ～12月3日	能楽、茶道、いけばな等についての講座、ワークショップ、ディスカッション (対象) 全国の美術館、博物館、ギャラリー、劇場等文化施設に勤務する担当職員、制作者、研究者あるいはアートマネジメントを学んでいる人	講堂、大広間、ミーティングルーム2、有斐斎弘道館	20人

(4) KAC Performing Arts Program 2016

ジャンルで区切ることが難しい新しい表現や、クロス・ジャンルの表現を積極的に創造し発信することを目指す事業を実施しました。

ア Contemporary Dance

(入場者数等：2,694人)

開催日	事業名	内容	会場	人数
4月22日～5月8日 *オーディション やショーケースも 重ねて開催。	京都国際ダンスワーク ショップフェスティバル 2016 (有料)	平成27年まで発表支援事業として開 催してきたフェスティバル。ルイス・ ガレー、セレノグラフィカなど新たに 講師を招き、主催として開催。ダンス アンドエンヴァイロメントと連携。	講堂、フリース ペース、大広間他	2,127人
4月27日、28日	京都国際ダンスワーク ショップフェスティバル 2016特別公演 フランチェスコ・スカ ベッタ『Hardly ever』 (有料)	京都国際ダンスワークショップフェ スティバル2016の講師でもあるフラン チェスコ・スカベッタによる新作 公演 (日本初演)。	講堂	121人
5月3日、8日	京都国際ダンスワーク ショップフェスティバル 2016特別プログラム (無料)	ショーイング等 SOL OLOS(アビー/スチューデント)、 フランチェスコ・スカベッタ、トム・ ヴェクスレール、ディディエ・テロン	講堂	240人
7月30日～8月13日 *最終日に成果発表	トーマス・リーブハー ト身体表現ワークショ ップ (有料)	トーマス・リーブハート (アメリカ) を講師に招き、コーポリアルマイン を学ぶ2週間集中ワークショップ。ア トリエ劇研と連携。	講堂、フリース ペース	26人
		発表公演	フリースペース	73人
12月4日	KAC TRIAL PROGRAM Vol.1 DANCE ~若手振 付家による作品創作~ (無料)	若手芸術家が作品を試演するための プログラム。作品の創作過程を公開 し、試演という形で可能性を精査 試演会参加者：アベル・コエリョー、 白井愛咲、田村興一郎、辻本佳、橋本匠	フリースペース	64人
3月27日	素我螺部ワークショップ /ショーイング(有料)	ダンスグループ「素我螺部」による ワークショップ。ショーイング形式 で成果発表	講堂	43人

イ Contemporary Theater

< 古典戯曲連続講座 >

(入場者数：105人)

開催日	講座内容	ゲスト	会場	人数
3月5日	シェイクスピア	桑山智成、本間広大	ミーティン グルーム2	28人
3月12日	チャーホフ	沼野充義、三浦基		45人
3月20日	イブセン	毛利三彌、長島確		32人

< 演劇計画Ⅱ - 戯曲創作 - >

松原俊太郎、山本健介の両名に戯曲執筆を委嘱し、計画を紹介するシンポジウムを実施しました。

開催日	講座内容	登壇者	会場	人数
3月22日	「S/F-到来しない未来」キックオ フシンポジウム	松葉祥一、伊藤亜紗	フリースペース	36人

ウ Music

「声」をテーマに4回の音楽公演を実施しました。

(入場者数：2,127人)

開催日	事業名	出演等	会場	人数
10月1日	風水のこえをきく#1 ヤニック・パジェ音楽公演「Vent et Eau」(風と水)	ヤニック・パジェ *ニューイ・ブランシュ関連企画	講堂	258人
1月20日	風水のこえをきく#2「声の徴候 声を 声へ 声の 声と」 「re:cite」(※)	山崎阿弥、石川高、森重靖宗	講堂	78人
12月17日 ~1月22日	風水のこえをきく#2「関連企画」 「re:verb」	声に触れる/触れられるような響きと感触を山崎阿弥の声(録音)で作 り出すインスタレーション	北館スロー ブ1階~3階、 和室「明倫」	1,593人
2月26日	風水のこえをきく#3「四季の遊び」(※)	平野一郎、吉川真澄	フリースペース	198人

※料金：一般2,000円/当日2,500円/学生1,500円(前売・当日共)

エ Traditional Performance 継ぐこと・伝えること

さまざまな伝統芸能を紹介する公演。平成28年度は、伝統芸能とは異なるジャンルから担い手となった、あるいは、伝統芸能を継承する中で、ジャンルを柔軟に横断しながら、それぞれの芸能の姿を模索する担い手をゲストを進行に招き、3回開催しました。(入場者数：191人)

開催日	事業名	出演等	会場	人数
12月13日	#57「浪曲×ブルース」(※)	出演：京山幸枝若、木村充揮/司会：橋本裕之	講堂	117人
2月12日	#58「落語~伝統芸能の現在形~」(※)	出演：立川吉笑/進行：木ノ下裕一	講堂	42人
3月30日	継ぐこと・伝えること/Meeting デジタルアーカイブ時代の伝統	出演：八村広三郎、茂山あきら/ 司会：小林昌廣	フリースペース	32人

※料金：一般1,800円/当日2,000円/高校生以下500円(前売・当日共)

(5) KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2016 AUTUMN

平成27年度からロームシアター京都を会場に加えて開催。例年と同様、舞台公演だけでなく、公式プログラムの一環として展覧会をギャラリーで開催しました。

<公式プログラム>

(センター入場者数(太字)：3,767人)

開催日	事業名称	アーティスト名	会場	人数
10月22日 ~24日	『Baling (バリン)』	マーク・テ	ロームシアター京都 ノースホール	273人
10月28日 ~30日	『El lugar imposible (不可能な場所)』	ルイス・ガレー	ロームシアター京都 ノースホール	335人
10月28日 ~30日	『Las Ideas (アイデア)』	フェデリコ・レオン	講堂	310人
10月29日 ~30日	『Work No. 1020 (バレエ)』	マーティン・クリード	京都府立府民ホール“アルティ”	568人
10月22日 ~11月27日	[展示]	マーティン・クリード	京都市立芸術大学 ギャラリー@KCUA	2,626人
11月1日 ~6日	『Ryoji Ikeda: concert pieces』	池田亮司	ロームシアター京都 サウスホール	4,282人
11月1日 ~6日	[展示]『the radar [kyoto)』	池田亮司	ロームシアター京都 ローム・スクエア	6,076人
11月3日 ~6日	『踊れ、入国したければ!』	松根充和	講堂	353人
	[展示]松根充和企画『世界の向こう側へ』	榎忠、ミヤギフトシ、ジュン・ヤン、ほか		

11月3日 ～6日	『勸進帳』	木ノ下歌舞伎	京都芸術劇場 春秋座	873人
11月9日 ～13日	『地獄谷温泉 無明ノ宿』	庭劇団ペニノ	ロームシアター京都 ノースホール	1,065人
11月11日 ～13日	『ZOO』	篠田千明	講堂	422人
11月12日 ～13日	『水の駅』	シャンカル・ヴェンカテーシュワラン/シアター ルーツ&ウィングス	京都芸術劇場 春秋座	534人
10月22日 ～11月13日	[展示]『河童と、ふたたび』	researchlight	ロームシアター京都 ローム・スクエア	12,000人
10月28日 ～11月27日	[展示]『CONFESSIONS』	小泉明郎	ギャラリー北・南	2,682人

※その他、「こどもとおとなの演劇祭 プレイ！パーク」を実施

<関連企画>

(センター入場者数(太字):96人)

開催日	事業名称	会場	人数
11月9日	researchlight『河童と、ふたたび』野外レクチャー 植島啓司「聖地の原初的形態」	ロームシアター京都	22人
10月22日	researchlight『河童と、ふたたび』関連トーク(ゲスト:磯部洋明、坂本大三郎)	ロームシアター京都	14人
10月22日 ～11月13日	フェスティバル・ミーティングポイント	ロームシアター京都 パークプラザ	61人
11月3日	明倫アワー (P22参照)	フリースペース	71人
10月26日	TPAM@KEXミーティング「舞台芸術の国際的なプラットフォームを活用する」	ロームシアター京都 会議室2	11人
10月24日	『Baling (バリン)』連続トーク(3)「マレーシアカフェタイム～わたしがマレーシアを好きな理由(ワケ)～」	ロームシアター京都 会議室2	38人
11月6日	小泉明郎「告白ワークショップ」	ミーティングルーム2	10人
11月13日	KYOTO EXPERIMENT×舞台芸術制作者オープンネットワーク(ONPAM) 公開シンポジウム	ロームシアター京都 会議室2	38人
11月10日	まいまい京都【岡崎】新生ロームシアター京都! 支配人がオモテもウラもご案内	ロームシアター京都	29人
10月22日	「マーティン・クリード」展 オープニングイベントマーティン・クリードによるアーティストトーク	京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA	110人
10月10日	『Baling (バリン)』連続トーク(2)片岡真実「現代アートから見るマレーシア」	ロームシアター京都 会議室2	45人
11月6日 ～20日	タニノクロウ展	春秋山荘	100人
11月6日	対談 池澤夏樹×木ノ下裕一「古典と向き合う-文学と演劇-」	ロームシアター京都 パークプラザ3階 共通ロビー	66人
9月4日	Luis Garay El lugar imposible (不可能な場所) Creation Research & Audition Workshop in Kyoto	講堂	15人
7月15日	『Baling (バリン)』連続トーク(1)マーク・テ「『Baling』について」	ロームシアター京都 3F会議室2	31人

(6) キュレータードラフト2017

若手キュレーターの発掘・支援を目的とし、第一線で活躍するキュレーターによる審査、また審査員によるアドバイスを経て展覧会を実現する企画公募展を行いました。

会期	事業名称	キュレーター	審査員	公募期間	会場	人数
2月18日 ～3月26日	スポンティニアス・ビューティ-作家のいない展覧会-	笹原晃平	難波祐子	5月20日 ～6月6日	ギャラリー 北・南	1,914人

< 関連企画 >

(入場者数 : 60人)

開催日	事業名称	講師	会場	人数
5月29日	トークイベント「展覧会の作り方:キュレーションが伝えること」	難波祐子、原久子	ギャラリー南	27人
2月19日	笹原晃平×難波祐子トーク、パーティー	笹原晃平、難波祐子	ミーティングルーム2	33人

(7) 展覧会 NEW INCUBATION8

創作手法やテーマ等何らかの共通点を持つ新進若手作家とベテラン作家による展覧会です。ジオラマあるいはパノラマというイリュージョンの形式を利用しながら複合的なメディアの作品をつくる二人の作家による展覧会を開催しました。

会期	事業名称	出展作家	会場	人数
6月10日 ～7月18日	ジオラマとパノラマ -Diverting Realities	中田有美 伊藤隆介	ギャラリー北 ギャラリー南	5,624人

< 関連企画 >

開催日	事業名称	会場	人数
6月10日	アーティスト・トーク	ギャラリー北・南	30人

(8) DOMANI・明日展 PLUS

文化庁新進芸術家海外研修制度のもと海外長期滞在を行った美術家による企画展。DOMANI・明日展の関西展として、文化庁と共催で「DOMANI・明日展 PLUS」を実施しました。

会期	事業名称	出展作家	会場	人数
9月17日 ～10月16日	ワームホール・トラベル ～ゆらぐ時空の旅	宮永愛子、長坂有希 小金沢建人、鬼頭健吾	ギャラリー北 ギャラリー南	3,576人

主催：文化庁、京都芸術センター

< 関連企画 >

(入場者数 : 101人)

開催日	事業名称	講師	会場	人数
9月17日	アーティスト・トーク	宮永愛子、小金沢健人、鬼頭健吾、長坂有希、林洋子	講堂	71人
9月18日	パフォーマンス	長坂有希	フリースペース	19人
9月22日	ワークショップ	池田剛介	ミーティングルーム2、館内	11人

3 先駆的・実験的事業

(1) ニュイ・ブランシュ KYOTO 2016

ニュイ・ブランシュ(白夜祭)を10月1日(土)に実施しました。(来館者数(19:00以降):287人)

内容	会場 (京都芸術センター)	人数
A.lter.Sessioの発表公演(ダンス) *一部をアーティスト・イン・レジデンス事業として実施	フリースペース	126人
ヤニック・パジェ(指揮者/作曲家)による小規模編成のオーケストラ公演 *音楽事業として実施(再掲)	講堂	258人
KYOTO CONTEMPORARY とAtelie de Parisのコラボレーション作品を展示(工芸/デザイン) *共催事業として実施(10月1日～9日)	和室「明倫」	446人

※その他、ギャラリーの開廊時間を22時まで延長

(2) 東アジア文化都市2017における東アジアネットワーク事業（再掲）

東アジア文化都市 2017 に合わせ、中国、韓国との3か国で学生を対象とした滞在型の共同プロジェクトを実施するための調査及びプログラム立案を行いました。

(3) LOVERS

京都を代表するアーティスト・グループ、ダムタイプの故古橋悌二氏の代表作「LOVERS」が修復されたことに伴い、京都市立芸術大学と共同で行う展示。併せてダムタイプの映像上映、トークイベントなどを実施しました。
(入場者数：3,651人)

会期	事業名称	出展作家・出演等	会場	人数
7月9日 ～24日	古橋悌二「LOVERS-永遠の恋人たち」 展示	古橋悌二	講堂	3,485人
7月18日	トークイベント	出演：阿部一直、石谷治寛、 石原友明、住友文彦、 高谷史郎 ファシリテーター：建畠哲	フリース ペース	166人
7月18日 ～19日	ダムタイプ作品上映会 (7/13 ナイトパーティー実施)	モデレーター：浅田彰、小崎哲也 トークゲスト：松尾恵、OK GIRLS、 福永信	METRO	—

4 制作・発表支援事業

(1) 制作支援事業（制作室使用者募集）

美術作品の制作、ダンスや演劇の稽古場等として制作室の使用を希望する芸術家を公募し、審査のうえで1申請につき最長3ヶ月間無料で提供しています。

平成28年度は、延べ103組の団体・個人が制作室を使用しました。

(2) 発表支援事業（共催事業募集）

京都芸術センターにおける事業として相応しい企画を公募し、講堂、フリースペース、大広間等の施設を、芸術作品の発表の場として提供しています。

平成28年度は、52件の事業を共催事業として実施しました。

【情報センター機能】

1 芸術文化情報の収集・発信事業

(1) 図書室の運営

センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的としたセンターならではの資料室です。

蔵書のうち、目的に見合う図書等約5,000冊、ビデオ等約500本を選択のうえ、閲覧に供し、芸術センターで実施する展覧会や公演会等の題材をテーマにした特別企画も開催しました。

<関連展示>

(図書館入場者数7,301人、内、関連展示入場者数：4,527人)

会期	事業名称	人数
4月1日 ～6月6日	キュレータードラフト2017 関連書籍の展示	1,308人
7月1日 ～8月31日	KOKUFU BOOK 國府理作品集の出版に寄せて	1,670人
7月30日 ～9月11日	夏休み企画展「感覚の遊び場—岩崎貴宏×久門剛史」関連資料の展示	926人
3月1日 ～31日	キュレータードラフト2017スポンテニアス・ビューティー -作家のいない展覧会- 関連資料の展示	623人

(2) 情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等を収集し、年間約1,500種を掲出しました。また平成28年度には、収集した情報を元に訪れる人が交流できるスペースを設置しました。

(3) 通信紙の発行

京都芸術センター事業の広報をはじめ国内外の芸術文化に関する情報を掲載した通信紙を、芸術関係者・機関、図書室、公共施設等を対象に、毎月8,000部発行しました。

(4) 京都芸術センターホームページ

京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信しました。

(5) 京都文化芸術オフィシャルサイト <Kyoto Art Box>

国民文化祭・京都2011を契機とし、より多くの方が文化芸術に親しめるよう、京都市の文化芸術全般の情報を集約したホームページを運営しました。

2 教育普及事業

(1) 大学・高校等への教育普及（再掲）

芸術センターの活動紹介を行うため、大学・高校等への教育普及に係る取組を実施しています。

平成28年度は、京都市立銅駝美術工芸高等学校からの受託事業として芸術鑑賞会を実施しました。

開催日	出演	内容	会場	人数
4月28日	狂言：茂山正邦、井口竜也、山下守之 落語：桂よね吉、桂鯛蔵、桂二葉、 豊田公美子	「古典落語と狂言一笑い」 解説、ワークショップと実演 落語：「皿屋敷」 狂言：「蝸牛」	京都市立銅駝美術工芸高等学校	270人

(2) インターンシップ・プログラム

8月及び9月の約10日間、インターンとして主にアートマネジメントや芸術学を専攻又は志す学生を9名受け入れました。

3 その他

京都芸術センターでは希望があれば視察・見学を極力受け入れています。

平成28年度は887名（59件）の視察・見学を受け入れました。うち、海外からの視察は107名（12件、10ヶ国）に上ります。

【交流センター機能】

1 国際交流事業

(1) アーティスト・イン・レジデンス

国内外の優れた芸術家・芸術関係者を受け入れ、京都芸術センターでの創作活動を支援するとともに、市民や国内の芸術家等との交流を図るレジデンス事業を実施しました。

平成28年度は、応募82件(33ヶ国)の中から、1組のアーティストを受け入れたほか、Kyoto.Köln (ドイツ・ケルン)、videobrasil (ブラジル・サンパウロ) との連携で各1組のアーティストを受け入れ、Seoul Dance Center (韓国・ソウル)、A4 Contemporary Art Museum (中国・成都) との連携のもと、エクステンジブプログラムを実施しました (A4 Contemporary Art Museumは平成28年度の実施に向け、アーティストの選定を行う)。

滞在期間	氏名	ジャンル	居住国	区分
8月1日～10月3日	A. lter. Sessio	ダンス	フランス	公募
6月6日～6月27日、 1月31日～3月19日	Michael Maurissens ※Kyoto A. I. R. Alliance Program	ダンス	ドイツ	招へい (KYOTO, KOLN)
10月30日～1月9日	Maya Watanabe	美術	チリ	招へい (videobrasil)
12月3日～1月25日	Seo, Kyong Sun	ダンス	韓国	公募・連携 (Seoul Dance Center)

< 成果発表等 >

(参加者数：1,744人)

開催日	事業名称	会場	人数
6月17日	Michael Maurissens Workshop#1 The Body in Question 「The architecture of the body」	講堂	23人
6月18日	Michael Maurissens Workshop#2 The Body in Question 「The sensing body」	講堂	28人
6月24日～26日	Michael Maurissens The Body in Question関連企画 ダンスフィルム上映会	ミーティングルーム2	39人
8月19日～20日	A. lter. Sessio ASCENSIO (Laboratory) 実験的ワークショップ	制作室7	10人
10月1日	A. lter. Sessio “LOSS(solo)” & “ENSEMBLE-version kyoto-” *一部をニューブランシュKYOTO2016として実施 (再掲)	フリースペース	126人
12月18日～24日	Seo, Kyong Sun オープンスタジオ	制作室7	8人
1月7日～2月19日	Maya Watanabe EARTH QUAKES	ワークショップルーム2	1,297人
12月18日～24日	Seo, Kyong Sun オープンスタジオ	制作室7	10人
1月8日～9日	Seo, Kyong Sun ソ・ギョンソン&キム・ボンホ コンタクト インプロビゼーション ワークショップ	制作室7	18人
1月12日～14日	Seo, Kyong Sun ワークショップ	制作室7	12人
1月15日	ソ・ギョンソン&キム・ボンホ オープンジャム	制作室7	10人
1月21日	Seo, Kyong Sun ショーイング	制作室7	30人
3月18日～19日	Michael Maurissens SELFHOOD	フリースペース	133人

(2) Kyoto A. I. R. Alliance Program

京都の他のレジデンス施設・団体と協働し、京都全体で行うレジデンスプログラムとして、新しい方式を試行し、実施しました。

期間	対象プログラム	アーティスト名	関係施設・団体名
6月10日	“庭師の夢プロジェクト”	RHIZOTTOME、今西玲子、 仙石彬人	京都芸術センター、アンス ティチュフランセ関西、ヴ ィラ九条山
6月6日～6月27日、 1月31日～3月19日	“The Body in Question” プロジェクト（再掲）	Michael Maurissens 他	京都芸術センター、Art Space 寄す処、京都芸術コ ア・ネットワーク、ヴィ ィラ鴨川

<庭師の夢”プロジェクト>

開催日	事業名称	会場	人数
6月10日	“庭師の夢プロジェクト”ショールーム	ミーティングル ーム2	43人

<“The Body in Question”プロジェクト（Michael Maurissens）>（再掲）（参加者数：223人）

開催日	事業名称	会場	人数
6月17日	Workshop#1 The Body in Question 「The architecture of the body」	講堂	23人
6月18日	Workshop#2 The Body in Question 「The sensing body」	講堂	28人
6月24日 ～26日	The Body in Question関連企画 ダンスフィルム上映会	ミーティングル ーム2	39人
3月18日 ～19日	SELFHOOD	フリースペース	133人

(3) アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（再掲）

京都市からの受託事業として、京都市内及び国内外のアーティスト・イン・レジデンスとのネットワーク構築のための事業を実施します。シンポジウムなどを開催しました。

アーティスト・イン・レジデンスシンポジウム2017

開催日	内容	登壇者等	会場	人数
2月4日	第1部 ディスカッション 「移動することと創作活動」 第2部 ディスカッション 「ネットワークの活用」	（第1部）登壇者：James Muriuki、 三原総一郎、劉璐姍/モデレーター： 日沼禎子 （第2部）登壇者：孫莉、日沼禎子、 横堀ふみ、山本麻友美/モデレータ ー：佐々木雅幸	講堂	76人

KYOTO AIR ALLIANCE FESTIVAL

期間	内容	参加機関
2月～3月	アーティスト・イン・レジデ ンスに関するブックレットの発 行、イベント情報の集約・発信	14機関・団体 京都芸術センター、Japan Contemporary Dance Network、 Sandwich、滋賀県立陶芸の森、ヴィラ九条山、ゲーテ・ インスティトゥート・ヴィラ鴨川、ANEWAL Gallery、DANCE BOX、神山アーティスト・イン・レジデンス、城崎国際ア ートセンター、Art Space 寄す処、山懐庵、東山アーテ ィスト・プレイメント・サービス、京都：Re-Search

2 市民及び芸術家相互の交流事業

(1) 林勇気展「電源を切ると何もみえなくなる事」

京都出身の中堅映像作家、林勇気による個展。映像というメディアそのものの危うい存在を「電源を切る」という行為を通して提示しました。

会期	展覧会名	出展作家	会場	人数
4月5日 ～5月22日	電源を切ると何もみえなくなる事	林勇気	ギャラリー北・南、 談話室、和室「明倫」	4,133人

<関連企画>

(入場者数：52人)

開催日	事業名称	講師	会場	人数
4月10日	アーティスト・トーク、パーティー	林勇気、平芳幸浩	ミーティングルーム2	39人
5月14日	ワークショップ「遠くを見るために」	林勇気	ミーティングルーム2	13人

(2) 夏休み企画展

子どもも大人も楽しめる展覧会企画を開催しました。

会期	展覧会名	出展作家	会場	人数
7月26日 ～9月11日	「感覚のあそび場-岩崎貴宏、久門剛史」	岩崎貴宏、久門剛史	ギャラリー北・南、 和室「明倫」他	4,419人

<関連企画>

(入場者数：141人)

開催日	事業名称	講師	会場	人数
7月26日	アーティスト・トーク	岩崎貴宏、久門剛史	ギャラリー北・南、和室 「明倫」	57人
8月6日、27日	ギャラリーツアー	西尾咲子	ギャラリー北・南、和室 「明倫」	13人
8月21日	明倫茶会（再掲）	久門剛史（美術家）、 岩崎貴宏（美術家）	和室「明倫」	71人

(3) 明倫レコード倶楽部

SP・LPレコードを使用するレコード音楽鑑賞会を4回開催しました。(参加者数：359人)

開催日	タイトル	進行	会場	人数
5月14日	【其ノ60】「ブランデンブルグ協奏曲」を聴く	亀村正章	講堂	109人
8月20日	【其ノ61】青の会	いしいしんじ	講堂	78人
12月18日	【其ノ62】白の会	いしいしんじ	講堂	92人
3月5日	【其ノ63】赤の会	いしいしんじ	講堂	80人

※料金：500円

(4) 京都市交響楽団アンサンブルコンサート Kyo×Kyo Today vol.7

京都芸術センターの会場の雰囲気を活かし、演奏者と聴衆が近い距離で音楽を楽しむ演奏会を、京都市交響楽団との共同主催事業として開催しました。

開催日	事業名称	出演者	会場	人数
2月3日	Kyo×Kyo Today vol.7	中野志麻（ヴァイオリン）、片山千津子（ヴァイオリン）、小田拓也（ヴィオラ・編曲）、渡邊正和（チェロ）、出原修司（コントラバス）、筒井祥夫（クラリネット）、中野陽一郎（ファゴット）、ハラルド・ナエス（トランペット）、中山航介（パーカッション）	講堂	147人

※料金：一般前売1,800円/当日2,000円/学生1,000円（前売・当日共）

(5) 素謡の会「世うつしの鏡」

能楽に気軽に触れてもらうために、毎年テーマを設定した曲目で、素謡の上演、曲の解説を行っています。

平成28年度は、田茂井廣道氏のナビゲートにより、能の過去から現在を考えるプログラムを実施しました。復曲能から新作能まで4つの演目を取り上げるほか、演目ゆかりの地で「謡曲ひとめぐり」を開催しました。(会場：大広間 参加者数：497人)

開催日	演目	出演者	人数
6月28日	羽衣	大蔵源次郎、田茂井廣道、河村浩太郎、林宗一郎、杉浦豊彦	121人
9月15日	邯鄲	河村晴久、橋本充基、橋本光史、田茂井廣道、島田洋海	96人
12月14日	葵上	澤雅展、広田ゆうみ、前田愛美、味方健、吉浪壽晃、味方玄、田茂井廣道	138人
1月26日	紅天女 (新作能, 国立能楽堂委嘱作品)	梅若玄祥、田茂井廣道、角当直隆、山崎正道、味方團、竹市学、広田ゆうみ	142人

※料金：前売1,500円、当日1,800円、年間席札5,000円

<謡曲ひとめぐり>

(会場：随心院)

開催日	演目	出演	人数
3月7日	第3回《草子洗小町》 ※仕出し弁当付き	河村和重、河村晴道、分林道治、田茂井廣道、河村和貴、河村梓姫	27人

※料金：3,500円、定員：60名

(6) 明倫ワークショップ

制作室使用者が市民との交流事業を行うワークショップを無料で実施しました。

(7) 明倫アワー

建畠館長が毎回ゲストを迎え、旬なトピックで話をします。3回実施しました。(参加者数：149人)

開催日	出演者等	会場	人数
9月22日	井上章一 (国際日本文化研究センター教授) 「京都人だと思っていたら、京都人ではなかった二人のトーク」	フリースペース	51人
11月3日	パネリスト：北川フラム (アートディレクター) 平田オリザ (劇作家/演出家) ナビゲーター：橋本裕介 (ロームシアター京都/KYOTO EXPERIMENT プログラムディレクター) 「東アジア文化都市 奈良から京都へ」	フリースペース	71人
3月7日	豊竹英太夫 (人形浄瑠璃文楽太夫)	ミーティングルーム2	27人

※料金、1,000円

3 地域・学術・産業との連携事業

(1) 主な地元関連事業

(参加者数：655人)

開催日	事業名	会場	人数
5月27日、 11月25日	ペトロフ・ピアノコンサート (主催)明倫ペトロフの会、明倫自治連合会	講堂	125人 80人
11月18日 ～20日	明倫フェスタ (主催)明倫自治連合会	講堂、大広間、 グラウンド	450人

(2) 祇園祭・山鉾金工品調査報告講演会～山鉾の飾り～

祇園祭の山鉾を飾る金工品についての15年に及ぶ調査の報告講演会を開催しました。

開催日	事業名	会場	人数
2月17日	第2回 祇園祭・山鉾金工品調査報告講演会～山鉾の飾り～ 主催：(公財) 祇園祭山鉾連合会、京都芸術センター	講堂	100人

(3) しらないことにであうばしょ～明治・大正・昭和の明倫小学校～

明治・大正・昭和の明倫小学校に関する歴史資料や写真をもとに、この場所が地域にとって、どのような存在であったのかを知る講演会を開催しました。

開催日	事業名	会場	人数
4月8日	しらないことにであうばしょ～明治・大正・昭和の明倫小学校～ 協力：明倫自治連合会、京都市学校歴史博物館	大広間	101人

(4) ボランティア・スタッフ

ボランティア・スタッフは、京都芸術センターの活動をさまざまなかたちで支えています。また、ボランティア・スタッフによる有志の自主的活動である、京都芸術倶楽部や古典芸能勉強会、茶の湯サロンいっぷくなどの実施を通じて、センターとボランティアの方々との交流を深めました。 ※ 登録者数：377名（平成29年3月末時点）

4 京都文化芸術コア・ネットワークの運営

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとしての京都文化芸術ネットワークを運営しました。（参加者数：307人）

開催日	事業名	会場	人数
6月19日	京都文化芸術コア・ネットワーク 第4回総会 ディスカッション「京都の現代カルチャーと芸術の未来」	講堂	184人
9月16日	第1回例会 京都文化芸術コア・ネットワーク×KANSA ART BEAT パネルディスカッション「文化芸術メディアの“いま”と“これから”」	講堂	56人
3月3日	第2回例会 大ボランティアの会	フリースペース	67人

※ その他、AGKサロンは各月1回開催

庶務の概要

1 役員等に関する事項

(平成29年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	備考
評議員	伊勢 信子	27.6.23	第3部門（造形）から選出された会員
〃	衛藤 照夫	〃	第3部門（造形）から選出された会員
〃	大木 富志	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	小久見豊子	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	音羽菊寿寿	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	白石真古人	〃	株式会社京都新聞COM事業局長
〃	関根 秀治	〃	第4・5部門（茶道・芸術企画）から選出された会員
〃	寺井 友秀	〃	NHK京都放送局長
〃	中村 展山	〃	第3部門（造形）から選出された会員
〃	名古きよえ	〃	第1部門（文芸）から選出された会員
〃	平竹 耕三	〃	京都市文化芸術政策監
〃	福田 和弘	28.6.29	国際交流基金京都支部長
〃	柳原 正樹	27.6.23	京都国立近代美術館長
〃	湯浅 圭一	〃	京都商工会議所常議員、同文化・情報部会長
〃	鷺田 清一	〃	京都市立芸術大学長
理事長	近藤 誠一	〃	近藤文化・外交研究所代表、元文化庁長官（京都市が選定する学識経験者）
副理事長	大津 光章	〃	第3部門（造形）から選出された会員
専務理事	吉田真稚恵	〃	京都市が選定する行政経験者
業務執行理事	建昌 哲	〃	美術評論家、詩人、前京都市立芸術大学長（京都市が選定する学識経験者）
理事	北村 信幸	〃	京都市文化市民局文化事業担当局長
〃	小山 菁山	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	茂山あきら	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	白井 進	〃	第3部門（造形）から選出された会員
〃	世古口瑳喜	〃	第2部門（舞台）から選出された会員
〃	廣 青隴	〃	第1部門（文芸）から選出された会員
〃	藤井宏一郎	〃	公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団専務理事
〃	細尾 真生	〃	一般社団法人京都経済同友会副代表幹事
〃	松尾 恵	〃	第4・5部門（茶道・芸術企画）から選出された会員
〃	村山 明	〃	第3部門（造形）から選出された会員
監事	中路 健一	〃	公認会計士
〃	吉岡久美子	〃	京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課計画推進担当課長

2 会議に関する事項

(1) 理事会・評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
第1回理事会 平成28年6月23日(木) 京都芸術センター ミーティングルーム2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度事業報告 ・平成27年度決算 ・平成28年度予算の補正 ・平成28年度第1回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項 ・平成28年度京都市芸術文化協会賞及び新人賞の決定 ・名誉会員の認定 ・新規会員の入会 	原案どおり可決 // // // 3名選考 原案どおり可決 //
第1回評議員会 平成28年6月29日(水) 京都芸術センター 講堂	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度事業報告 ・平成27年度決算 ・平成28年度予算の補正 ・評議員の選任 ・定款の変更 ・公益財団法人京都市芸術文化協会評議員会運営規程の改正 	原案どおり可決 // // // // //
第2回理事会 平成28年10月11日(火) (書面表決)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規会員の入会 	原案どおり可決
第3回理事会 平成28年10月18日(火) (書面表決)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規会員の入会 	原案どおり可決
第4回理事会 平成29年3月21日(火) 京都芸術センター ミーティングルーム2	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度補正予算 ・平成29年度事業計画 ・平成29年度予算 ・公益財団法人京都市芸術文化協会職員給与規程の改正 ・公益財団法人京都市芸術文化協会職員就業規程の改正 ・平成28年度第2回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項 ・新規会員の入会 	原案どおり可決 // // // // //
第2回評議員会 平成29年3月28日(火) (書面表決)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任 	原案どおり可決

(2) 会員総会・芸文協創立35周年祝賀会

平成28年7月7日(木) 京都ホテルオークラ 出席者：162名